

平成19年8月31日

報道機関 各位

東北大学大学院医学系研究科

平成20年度東北大学大学院医学系研究科入学試験における出題ミスについて

平成19年8月30日に実施された標記の試験において、下記のとおりミスが発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 試験の実施方法

障害科学専攻博士課程（後期3年の課程）

外国語（英語）は、2題出題のうち2題とも解答する。

医科学専攻博士課程（医学履修課程）

専門試験科目は、15科目から主科目1科目及び副科目1科目を選択し解答する。

2. 事実経過

試験開始直後、受験者から、設問の誤植及び欠落などについて、計3箇所の質問があり、直ちに作題者に確認のうえ訂正した。受験者には、監督者が板書するなど訂正箇所について周知し、特に混乱もなく試験は時間内に終了した。また、受験生からの申し出も特になく、その後の面接試験も無事終了した。

（詳細は別紙のとおり）

3. 受験者数

障害科学専攻： 8名 外国語（英語）は全員受験

医科学専攻： 67名 内科学を選択した受験生は、主科目30名、副科目25名

今回のミスの原因は、作題教員及び試験問題点検班の確認ミスによるものであった。

再びこのような事態が生じることのないよう、入試問題の作題体制とチェック体制等、実施要領の見直し等を行うとともに、試験の実施には万全を尽くすこととしています。

受験生の皆様には深くお詫びを申し上げます。

本件に係る問い合わせ先

〒980-8575

宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

東北大学大学院医学系研究科 事務長 高橋秀市

電話：022-717-8002・8008

(別紙)

1. 障害科学専攻博士課程(後期3年の課程)

外国語(英語) 10:00~12:00

開始直後、試験問題について受験者から質問があり、以下のとおり対応した。

「問題番号2」

◎質問①： 設問4が抜けているが、間違いではないか？

◎対応①： 作題者に確認のうえ、設問番号を誤って3の次を5にしてしまったことが確認できたので、4は欠番である旨を板書及び口頭で周知した。

◎質問②： 設問6の文章中(8)とあるのは(9)の誤りで、設問7の文章中の(9)とあるのは(8)の誤りではないか？

◎対応②： 作題者に確認のうえ、指摘どおりであったため、訂正を板書及び口頭で周知した。

2. 医科学専攻博士課程(医学履修課程)

専門試験 13:00~14:30

開始直後、試験問題について受験者から質問があり、以下のとおり対応した。

「内科学A 問題番号2」

◎質問③： 選択肢の中から選んで解答する問題だが、選択肢が記載されていないのでは？

◎対応③： 問題印刷時に欠落したことが判明したため、問題原稿から再度受験者の人数分を印刷し、再配布のうえ、口頭で修正を周知した。

いずれの場合も、迅速に対応したことにより、特に混乱は生じなかった。